

「ちばばら4姉妹」
連携を深めて



千葉市内にはボランティア情報提供施設が4つあります。私たちの「ちば生涯学習ボランティアセンター」の他に「千葉市ボランティアセンター」「ちば市民活力創造プラザ」「千葉市国際交流協会」です。これらを総称して、誰が呼んだか「ちばばら4姉妹」というそうです。が、市民にとっては違いがよくわかりません。実際、テリトリーが重なることも少なくないし、ボランティアの中には複数の施設で登録・活動している人もいます。そこでそれぞれの登録者を共有資産として活用することも考えられ始めました。各施設の特徴や目的、活動内容などの違いを共通理解しつつ、互いに協力・連携を深めようとしています。



ちばばら「4姉妹」集合
2月17日の国際ふれあいフェスティバルにて

今年もそれぞれの施設の公開イベントに展示などで一緒に参加したり、研修で施設見学や意見交換を行うなどしてきました。想定する対象者や運営システムが異なるなど、統合は難しいのですが、互いに支え合う社会の実現のために「4姉妹」の協力・連携は不可欠です。



現在、多くの市民の皆さんが、意欲的な知識や経験をもち、まちづくりの色々な分野にたずさわっています。市では活動しやすい環境づくりやサポート体制の整備に取り組んでいます。皆さんの力をまちづくりに、力を合わせて未来の千葉市を作っていきます。

ボランティアをしたい人はこちら
▶ ボランティア募集情報
ボランティアをしてくれるグループ・団体に入ってみよう
▶ ボランティアグループ募集情報

リンク先
● ちば市民活力創造プラザ
● 千葉市国際交流協会
● ちば生涯学習ボランティアセンター

千葉市のボランティア情報はWeb サイトでも検索できます。

センター主催講座のご案内

「ボランティアはじめたい！千葉市のボランティア関連施設活用術ーボランティア4施設合同説明会」

平成 25 年 5 月 18 日（土）

13：30～15：30 3F 大研修室 定員 40 人

“ちばばら”にボランティア情報を提供している、「ちばばら4姉妹」が、それぞれの施設でのボランティア活動支援について事例をまじえてご紹介します。

ボランティア活動をしたいけれどどこに行けばよいのか迷っている方、何か始めたい方、参加をお待ちしています！！

編集後記：編集担当のつぶやき



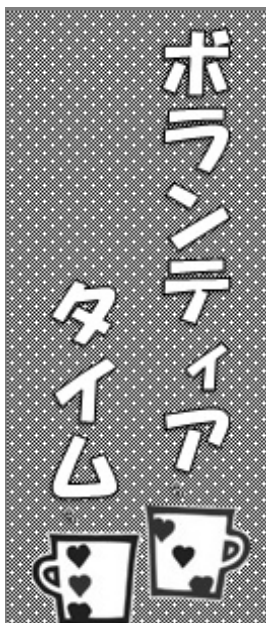
3月と言えば雛祭り。小学生の娘たちはこっそり人形を触っているらしい。髪がぼさぼさしている。私も同じことしたな…。お雛様、子供たちの成長を見守ってくださいね。

常に向上心！！生きがいを探し！！同じ興味を持つ仲間探し！！生涯の友へ！！（千葉市生涯学習センターがお役立ち！！）



平成 24 年度を振り返って
ボランティアセンターの一年
東日本大震災から2年。助け合うことの大切さを思い知らされたあの時以後、「自分も社会に役立ちたい」という人が増えました。

ちば生涯学習ボランティアセンターにも、そういう意識を持たれた方の相談が数多く寄せられ、今年1月末現在、個人



平成 25 年 3 月 1 日発行
第 2 号（年 3 回発行）

【編集・発行】
ちば生涯学習
ボランティアセンター

依頼件数は昨年同期比2割増、依頼先も子どもルームなどの学校関係や自治会、市民団体などが8割近くを占めるようになりました。

その反面、残念ながら依頼の2割近くは現在の登録ボランティアでは受けきれなかった実態も。多様なニーズに応えるには、登録ボランティアのますますの拡充が今後の課題となります。

さまざまな分野で活動・活躍されている人たちで、ボランティアの意思のある方がいたら、ぜひ、ご紹介ください。

首都直下地震に備えて

～地域住民の防災意識の向上を図り減災活動に取り組むボランティア～



【小学生に対する防災教育】
防災紙芝居を読み聞かせ、危険な場所、安全な場所を確認

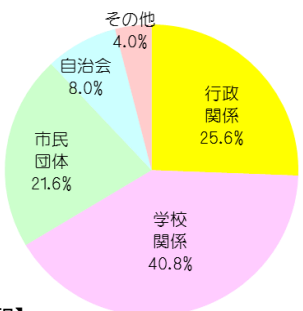


【地域住民に対するトイレ作成指導】材料はダンボールとゴミ袋



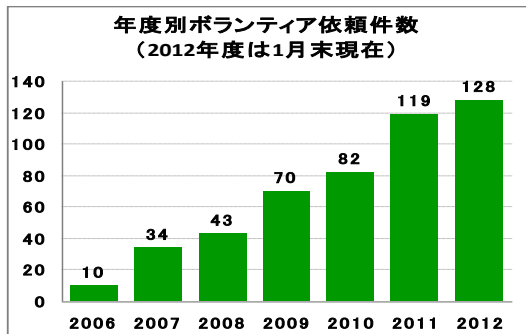
公民館でのお泊りイベントにて(学生ボランティア)

2012年度 依頼先別の割合



【依頼先の内訳】

行政関係…公民館、いきいきセンターなど
学校関係…放課後子ども教室、子どもルーム、学校の授業での学習支援など
市民団体…老人会、学習サークルなど



東日本大震災を教訓として、千葉市内で多くの被害が生じ、地域住民の意識も高まりました。現在予想されている東京湾北部直下地震（千葉市直下）に対し、自分自身の命を守り、生き残る為になにをすべきか、事前対策等を地域住民の皆様へ講習会、防災訓練、又、中学生・小学生に対し防災教育等を実施し、行政とともに安全で住みよいまちづくりを目指している防災ボランティア団体です。

SL ネットワーク千葉支部
登録番号 GO5-O12



こちらのコーナーでは「千葉」をキーワードに、ボランティア活動を紹介していきます。

ボランティアフェア2012

昨年 11 月 23 日～12 月 6 日の 2 週間、千葉市生涯学習センターにおいてボランティアフェアが開かれました。

あなたの活動を 発信できる場があります！

展 示 編

1 階アトリウムガーデンにおいて、20 団体（個人も含む）が参加。登録者がそれぞれ思い思いの展示で来館者を迎えました。



来館者で賑わう会場

今回の展示内容

- ◆心がホッとするホメオストレッチ ◆家庭倫理の会活動状況 ◆障がい者に晴れ姿を ◆円空彫 ◆篆刻をはじめよう
- ◆ちば・こくごふれあいの会活動内容の紹介 ◆墨彩画「水墨彩花画・秋」 ◆室内飾り ◆簡単手縫い「タオル帽子」
- ◆あなたも「囲碁」ができる ◆はじめてのアートフラワー ◆パソコンアート・工芸の会 ◆マクラメ編 ◆健康セミナー
- ◆JICA 海外シニアボランティアの活動 ◆価値ある人生のために ◆エッセイで綴る自分史 ◆コイン収集で楽しく生涯学習
- ◆「坂本龍馬の写真」にまつわる話題 ◆1 コイン（500 円）のフラワーアレンジメントの体験教室

簡単手縫い「タオル帽子」(G10-008)

一枚のタオルで作る帽子。素材や模様の違いで色々な表情の帽子ができます。生涯学習講座の受講生がそのまま続けて立ち上げたサークルです。この帽子を待っているがん患者さんがたくさんいます。目標 500 個にあともう少しですが、材料が足りません。多くの方のご協力をお願いします。



ご紹介します



龍馬の絵も
手作りです



「坂本龍馬」にまつわる話題 (K08-012)

千葉県で最初の写真師「豊田尚一」についてコツコツと調べ研究してきた登録者の展示です。今回はよく知られている坂本龍馬の写真は誰が写したのか？など面白い視点で調べた内容とともに写真で見る歴史の楽しさを多くの方に知っていただきたいそうです。

エッセイで綴る自分史 (K11-017)

「文章を書くのは苦手」と多くの方が思っています。でも人にはそれぞれ生きてきた中でのエピソードや思いがあり引き出しをたくさん持っています。その引き出しを開けるお手伝いをちょっとだけすると皆さん文章が書けるようになりますよ、とのお話。



もしかしたら、私にも書けるかも…

いろいろな特技を持っている ボランティア登録者がたくさんいます！

週末には 3 階工芸研修室で幅広い世代が参加できる体験コーナーがあり、ボランティア登録者の指導のもと楽しい講習会になりました。取材した 2 つをご紹介します。

体 験 編



アートフラワー de フローチ制作 (K08-002)

白い花びら型の布を染料で染めて、コテで表情をつけ小薔薇のブローチを作りました。同じ説明なのに発想の違いでいろいろなお花が出来上がりました。他の方のも素敵だけど自分のものが世界一に素敵! うっとり!! 自分で自分を褒めることができただけでなく、大人になっても褒められたこの時間が楽しかったです。

篆刻(てんこく)をはじめよう (K11-014)

篆書の文字を彫って印章を作る講座です。この日は人が鈴を持って神様に音楽を捧げている様子を表している「楽」という字を彫りました。先生の「感じるままに彫るといいんですよ」というやさしい言葉に皆黙々と彫り続けました。同じ字なのにそれぞれ個性的で、世界に一つ「私だけの印章」です。



期間中、ボランティア登録者の懇親会が開かれました



懇親会の感想 (K07-003)

一階アトリウムでボランティア登録者のいろいろな掲示を見て、その活動に感心しながら懇親会に参加した。初めのゲームで気持ちが和らいだ後、参加者の簡単な自己紹介等があり、みんなそれぞれの分野で素晴らしく、そんな人たちと同席できたことは貴重な体験であった。

体験講座参加者の声から

- ・また習いたい。どこで習えるか？
 - ・退職後の楽しみを探している。どうすれば？
- と言った声が聞かれました。

もしあなたの興味のあることに二人以上の仲間がいるなら、すぐにボランティアセンターにご相談ください。講師（無料）をご紹介します。

2 人以上
集まったら



講座は？
講師は？

